

北九州まちづくり応援団株式会社

I 法人の概要（平成 25 年 4 月 1 日現在）

- 1 所在地 北九州市小倉北区魚町二丁目 2 番 11 号
- 2 設立年月日 平成 17 年 6 月 27 日
- 3 代表者 代表取締役社長 伊藤 健二
- 4 資本金 32,000 千円
- 5 北九州市の出資金 1,000 千円（出資の割合 3.1%）
- 6 役員員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役員	7 人	0 人	0 人	7 人
常 勤	0 人	0 人	0 人	0 人
非常勤	7 人	0 人	0 人	7 人
職員	42 人	0 人	0 人	42 人

II 平成 24 年度事業実績

小倉及び黒崎の中心市街地の賑わい創出のため、従来の①北九州市中心市街地活性化基本計画（小倉・黒崎）掲載の事業、②賑わいづくり事務局業務、③北九州市からの受託事業、④指定管理業務に加え、新たに黒崎商店街での食料・雑貨店「ニューながしまフード」の営業、小倉魚町での「サンリオ小倉ビル」の一括賃貸事業を開始した。

このうち、小倉地区では、「小倉ハローズ」、「インフォメーション事業」、「おもてなしトイレ」、「共通駐車券事業」を、黒崎地区では、「ホスピタリティ事業」など、中心市街地活性化基本計画に掲載されている事業等に取り組み、概ね予定通りの活動ができ、小倉及び黒崎地区の中心市街地の賑わいづくり・活性化に寄与できた。

また、指定管理業務（小倉城・小倉城庭園・水環境館）については、1年間を通じて様々なイベント・講習会等を開催し、前年より多くの来館者の入場があり、また売店等の売上げも向上し、収益的にも前年度より向上することができた。

さらに、新規事業のうち、「ニューながしまフード」は、昨年 5 月より営業を開始し、様々なセール企画等の営業努力を行った結果、売上げは当初の目標に達しなかったものの、損益的には黒字を計上することができた。

また、同じく新規事業のうち、「サンリオ小倉ビル」は、昨年 9 月より営業を開始し、入居テナントの「カルディー」は当初の予測を上回る来客がっており、当ビルテナントとして安定的な賃料を得ることができた。また、カルディーへの来店客により立地する魚町の通行者数も増えており、町の賑わいづくりにも貢献している。しかしながら、2 階の子育て支援施設「ママトモ」への来館者数が当初予定を下回ったほか、3 階会議室の利用件数が低調であり、初年度の開業費用の負担を含め、厳しい収支となった。

これらの結果、当期純利益は、約 477 万円の黒字を計上し、前年度より大きく改善することができ、利益剰余金も黒字に転換した。

Ⅲ 平成24年度決算

1 貸借対照表

平成25年3月31日現在(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
【流動資産】	77,749,695	【流動負債】	30,601,397
現 金	294,789	買 掛 金	1,696,663
預 金	23,741,082	未 払 費 用	9,505,656
商 品	2,723,207	未 払 法 人 税 等	485,500
貯 蔵 品	726,022	預 り 金	4,673,640
前 渡 金	13,700	未 払 消 費 税	1,084,100
未 収 入 金	24,606,651	小 倉 城 関 連 負 債	10,155,838
小 倉 城 関 連 資 産	25,644,244	預 り 敷 金	3,000,000
【固定資産】	12,497,175	【固定負債】	26,540,000
(有形固定資産)	(8,707,175)	長 期 借 入 金	26,540,000
建 物	4,985,135	負債合計	57,141,397
建 物 附 属 設 備	3,684,047	(純資産の部)	
工 具 器 具 備 品	37,993	【株 主 資 本】	34,005,473
(投資その他の資産)	(3,790,000)	資 本 金	32,000,000
投 資 有 価 証 券	60,000	(利益剰余金)	(2,005,473)
出 資 金	10,000	そ の 他 利 益 剰 余 金	2,005,473
差 入 保 証 金	600,000	繰 越 利 益 剰 余 金	2,005,473
敷 金	3,120,000	純資産合計	34,005,473
【繰延資産】	900,000	負債・純資産合計	91,146,870
入 会 金	900,000		
資産合計	91,146,870		

2 損益計算書

自 平成24年 4月 1日

至 平成25年 3月31日 (単位:円)

科 目	金 額	
【売上高】		
事業収入金	110,103,480	
店舗売上	34,244,313	
小倉城関連売上	201,345,620	345,693,413
【売上原価】		
小倉城関連売上原価	14,654,025	
仕入高	29,851,175	
※ 合計 ※	44,505,200	
期末棚卸高	▲2,723,207	41,781,993
売上総利益金額		303,911,420
【販売費及び一般管理費】		303,832,998
営業利益金額		78,422
【営業外収益】		
受取利息	8,586	
雑収入	16,233,846	16,242,432
【営業外費用】		
支払利息割引料		167,029
経常利益金額		16,153,825
【特別利益】		
前期損益修正益		4,329,334
【特別損失】		
固定資産圧縮損		15,706,240
税引前当期純利益金額		4,776,919
法人税、住民税及び事業税		850,000
当期純利益金額		3,926,919

IV 平成25年度事業計画

平成25年度は、昨年度と同様に、①北九州市中心市街地活性化基本計画（小倉・黒崎）掲載の事業、②北九州市からの受託事業、③賑わいづくり事務局業務、④指定管理業務、⑤「ニューながしまフード」事業、⑥「サンリオ小倉ビル」事業を進め、引き続き、小倉・黒崎地区の中心市街地の賑わいづくり・活性化に寄与する。

これらの活動のうち、北九州市からの受託費や負担金の大幅な削減に伴い、中心市街地活性化基本計画掲載の事業、北九州市受託事業、賑わいづくり事務局業務の売上げ（事業規模）が昨年度より縮小している。

また、指定管理業務（小倉城・小倉城庭園・水環境館）については、1年間を通じて様々なイベント・講習会を開催する一方で、5年間の指定管理期間が終了するため、知恵を出し合い、一丸となって指定獲得に向けて取り組む。

さらに、「ニューながしまフード」は、品揃えの幅を拡げ、展示方法の変更、他地域の特産店との連携強化などにより、黒字の定着を図る。

また、サンリオ小倉ビルは、1階テナントからの安定的な賃料を得るとともに、2階テナント賃料収入増加に向け、商店街との連携強化のイベントを計画している。

V 役員名簿

平成25年7月1日現在

役職名	氏名	備考
代表取締役会長	利島康司	北九州商工会議所会頭
代表取締役社長	伊藤健二	北九州商工会議所副会頭
専務取締役	永田健次	北九州商工会議所事務局長
取締役	甲山博美	小倉中央商業連合会理事長
取締役	横矢順二	北九州市小倉北区長
取締役	岡田孝徳	小倉地区中心市街地活性化協議会事務局長
監査役	前川義広	西鉄バス北九州(株)代表取締役社長